



エッ！カバもゴリラもないの？

河合 重(東京コスモスクラブ・多摩動物公園サービスボランティア)

文
庫
誌
フ
ィ
ス

上野動物園が狭くなり、いまから52年前、京王電鉄沿線の日野市内の現地に上野動物園の4倍、53haの多摩動物公園が開設されました。開園当日は25万人と驚異的な来場者数でした。最近のデータでは年間入場者数では上野が300万人以下で、数字の上では旭川(旭山動物園)と張り合っています。

多摩は100万人前後ですが、2005、6年の日経トレンディ誌の調査ではビックリ度では旭川が首位、多摩が3位ですが、全国20の水族館、動物園の(総合)ランキングでは多摩が首位でした。

動物園も時代とともに変わってきております。たとえばゴリラを含めて希少野生動物は規制が厳しく輸入できないので、全国の動物園が協力し合って増殖活動をそれぞれの動物についてその動物に相当と思われる動物園に集中して行うようになり、多摩のゴリラは上野に移されました。動物にも相性があって雄と雌がいれば子孫が生まれるといったものでもないようです。また大きな図体で、なんとなくユーモラスなカバは、飼育に大量の水が必要で、多摩では水が確保できないため、飼育していません。

さて動物のうちでいちばん食費が高つくのはどの動物だと思いますか？ いちばん食事代のかかるのは意外ですがコアラちゃんです。コアラの餌はご存知の通りユーカリの葉ですが、ユーカリは世界中で600種類もあって、その中で多摩のコアラが食べるのは主食で6種類、デザートで2種類と、とても餌の選択が繊細で、餌を集めるのが大変なので高いものになっています。その次が体の大きな象さんで1万円/日です。

クリスマスにサンタさんを乗せて走るトナカイはオスでしょうかメスでしょうか？サンタさんを乗せて走るトナカイは立派な角を生やしていますが、オスの角はクリスマス前の秋には落ちてしまいます。メスは春先ころまで角がのこっていますので、メスだということになります。

ここに載せた写真は象さんのウンチの一つを乾燥させたのもので、生ですと重さは3倍はあります。大きな体だけによく食べ毎日100kg 近くのウンチをします。1~1.5kg ほどのウンチを合計すると70個ほどになるのですが、あちらこちらにしています。

動物のウンチにはそれぞれ習性があるようで、概



して強い動物はウンチを方々に撒き散らして存在を誇示しているように見えます。弱くて群れを作って生きている動物は、たとえば狸ですが、ウンチを一定のところで、しかも群れ全体が同じところでしています。日本カモシカも家族が同じところでします。キリンは大きな体ですが、ウンチはそら豆のような小さなものであちこちに歩きながらしますので、掃除の人は大変です。チータは目立つところに肉食ですから臭いをして、他の動物に誇示しているかのように見えます。カバは夕方飼育室にいられるとき入り口の壁に必ずウンチを浴びせかけて存在を誇示して悠々と部屋に入っていきます。多摩動物公園に来られて、動物の糞を見つけれたら、どの動物の糞かしらべられると面白いかもしれません。(蒔蓄のあるお話に会場は熱気が立ち込めました。)

アフリカ象は妊娠期間が22ヶ月。歯は特殊な歯で4本しかなく、5回生え変わりますが、最後が40歳前後で、この歯が駄目になると生きていけないことになります。また自分で座った場合、立ち上がることができませんが、何かの拍子に倒れた場合、体重が重すぎて立ち上がることができず死に至ります。多摩動物園で人気のあるオランウータンのスカイウォークは、冬は休ませています、アカギレ予防のためです。

多摩動物公園にお越しになると、運がよければ孔雀が美しい羽を拡げて皆さんを精一杯歓迎してくれることでしょう。なお多摩動物公園の敷地の約6割を占めるのがコナラやクヌギなどを中心とした雑木林で、一年を通じて新緑の春、秋の紅葉など、季節を肌で感じられます。里山に手を入れて古くから身近に見られた草花や昆虫、動物たちを呼び戻す活動が続けられています。動物のみでなく、植物にも親しみを感じていただけるよう努力が続けられていますのでよろしく。(厚木クラブ:2010年1月例会卓話)